

ウェブサイトのご紹介

在宅療養や緩和ケアに関するさまざまな情報や、各地でのフォーラムや研修会などの活動を掲載しています。在宅療養についてわかりやすくまとめたガイドブック「ご家族のための がん患者さんとご家族をつなぐ在宅療養ガイド」を、ご覧いただけます。



がんの在宅療養

がんの在宅療養



<http://homecare.umin.jp/>

掲載内容

- ▶ 「ご家族のための がん患者さんとご家族をつなぐ在宅療養ガイド」のご紹介
- ▶ 在宅での療養をテーマにしたフォーラムや研修会のご案内や開催記録
- ▶ 在宅療養ガイドに関わった人からのメッセージ
- ▶ お役立ち情報のご案内 など



ご家族のための がん患者さんとご家族をつなぐ 在宅療養ガイド

定価：本体価格 1,000 円+税
出版：株式会社 日本医学出版
ISBN 番号：978-4-86577-016-2
サイズ：A5 判
ページ数：144 ページ

全編をウェブサイトで
ご覧いただけます

全国の書店で
注文・購入できます

地域における がん患者の緩和ケアと療養支援情報 普及と活用プロジェクトについて

患者さんが、その人らしい生活を維持しながら、自宅や施設などの身近な場所で過ごすときに役立つ情報を、ウェブサイトやフォーラムなどで発信しています。地域でのフォーラム、アンケートなどを通して、顔の見える関係づくりを進めていくことが、患者さんとご家族を支える社会づくりの第一歩だと考えています。ぜひ、ウェブサイトをご覧ください。

あなたの街の相談窓口・連絡先

このパンフレットは、公益財団法人 正力厚生会の助成により作成されています。



がんの
在宅療養

3回シリーズ

第1回

がん患者さんの在宅療養とは

もっと知りたい「がんの在宅療養」
病気になっても、ずっと家で暮らせます。

保存版

地域におけるがん患者の緩和ケアと療養支援情報 普及と活用プロジェクト

病気になっても、
ずっと家で
暮らせます。

がん患者さんの在宅療養とは



もっと知りたい「がんの在宅療養」

3回シリーズ

第1回 がん患者さんの在宅療養とは

第2回 私たちに相談してください

第3回 もっと知ってほしい、在宅療養のこと

もし、あなたや、あなたの大切な人ががんになったら。

住み慣れた場所での生活を続けながら、その人らしい毎日を送ることができるような仕組みづくりが、地域で進められています。がん患者さんの在宅療養とは？



相談員

在宅療養をサポートする専門職のことや、お役立ち情報について、3回シリーズでお届けします。

●在宅療養とは？

住み慣れた場所で、できるだけそれまでの生活を変えずに治療やケアを受けるのが「在宅療養」。ご家族や親しい人の声に包まれていることで、自分らしく過ごすことができる方も多くいらっしゃいます。場合によっては家事や趣味、状況が許せば仕事もでき、経済的な不安や負担も減らせるかもしれません。

●在宅を支える専門職 ～まずは、相談できる話し相手を見つけることから～

ソーシャルワーカー、ケアマネジャーなどの相談員がいます。まずは、病院や地域の相談員と話をしてみましょう。在宅療養の始め方や、お金のこと、医療のことなど、患者さんご本人の疑問やご家族の不安に応じてくれるだけでなく、さまざまなアドバイスを受けることができます。

在宅療養
ならではの

5つの良さ

1. 家族と過ごす時間をもてる
2. 住み慣れた環境で過ごせる
3. 自分のペースで家事や趣味ができる
4. 可能な範囲で仕事を続けられる
5. 地域とのつながりを保つことができる

でも、いろいろなことが心配

自宅で過ごすのはいいけれど、急に具合が悪くなった時や痛みが激しい時は、どうすればいいの？家族だけでは看病しきれない…、ベッドはどうする？浴室もリフォームしなくちゃいけないの？お金はどのくらいかかる？など、在宅療養についてはわからないこと、不安なことだらけかもしれません。



わたなべ きよたか

渡邊 清高 さん

帝京大学医学部内科学講座
腫瘍内科 准教授

信頼できる医療情報の発信と、現場と地域のニーズに応じた普及の取り組みを実践している。

在宅療養について 相談するには

- 行政の担当窓口があります。
- 相談員のいる、地域包括支援センターの各地域の所在を各市町村に聞いてみましょう。
- 国から指定を受けているがん診療連携拠点病院には「がん相談支援センター」が設置されているので、足を運んでみてください。相談は無料で、その病院にかかっているなくても利用できます。



国立がん研究センターがん対策情報センターが運営するウェブサイト「がん情報サービス」で、全国の「がん相談支援センター」を検索できます。

がん情報



国立がん研究センター
がん情報サービス

ganjoho.jp

●ご本人の想いを大切に

在宅療養を考える上で、最も大切なのは、「ご本人の想いや願い」です。これからの療養生活をどこでどのように過ごしたいのかは、在宅での療養の方針や方法を決定していく上で、なくてはならないものです。ご家族もその想いを共有していくことが、よりよい在宅での療養につながります。

わたなべ きよたか

渡邊清高さんに聞く

「在宅療養を始めるとき」

Q. がん患者さんの在宅療養とはどんなものですか？

——住み慣れた自宅や施設などで心穏やかに過ごすことでしょうか。在宅での療養にはマニュアルもなければ、決まった型もありません。患者さんご本人とご家族が一番いいと思うかたちを専門家の手助けを得ながら一緒に作り上げていく、ご本人の希望を中心に、病状や環境の変化などに合わせて、その都度みんなで考えていくことが大切です。

Q. 在宅療養を始めるときに必要なことは？

——まずはじめに、患者さんやご家族だけで、何もかも背負って頑張ろうと思わないでください。満足できる在宅での療養生活を送るコツは、「何でも話し合える関係をつくること」。必要なものをそろえたり、部屋を整えたり、介護保険の手続きをしたりと、一つひとつ相談しながら備えていくといいでしょう。

Q. 在宅で本当に大丈夫なのか、不安もあります

——安心して在宅療養を始めするには、確かな情報を得ることが大切です。在宅療養を考えるときに役に立つ情報をウェブサイト「がんの在宅療養」と「ご家族のための がん患者さんとご家族をつなぐ在宅療養ガイド」にまとめました。

Q. それはどんな内容でしょう？

——がんを患った方が、その人らしい生活を維持しながら、ご自宅や施設などの身近な場所で過ごすときに役立つ情報をまとめました。ご自宅など、住み慣れた環境での療養に向けた準備、コミュニケーションのとり方、在宅での生活で得られる安心感など、患者さんのご家族による体験談も掲載されています。

より詳しくは、次のページをご覧ください ▶▶▶▶